

ましこアカマツ復活プロジェクトの取り組み！ （令和2(2020)年12月18日）

かつて益子の山にはアカマツが豊富に生育し、豊かな環境と景観を形作るとともに、益子焼の窯焚きに利用されていました。

しかし、現在ではマツ枯れなどの影響により、その多くが失われています。

そこで、益子町では町木でもあり、歴史ある益子の風土の象徴となるアカマツを復活させる「ましこアカマツ復活プロジェクト」を実施しています。

ましこアカマツ復活プロジェクト

○益子町内の小学生等の手で、『焼き物の里益子』のアカマツ林を復活させよう！

○アカマツと町の歴史について学ぶとともに、子供たちの郷土愛と自然の大切さ、森林の働きへの理解を深めよう！

○平成29年8月に実行委員会を設立、取り組みスタート

お手入れ対象のアカマツ林



今年で4回目となるアカマツ林のお手入れプロジェクト

平成29年、平成30年、令和元年と、実行委員会の中心メンバーである「益子里山の会」の方々による下刈りと、益子町内の小学生の枝打ち作業、間伐作業のおかげで、少しずつきれいな林に変わりつつあります。

平成28年は、このような状況でした。



今年からは、いよいよ、間伐に取り組んでいきます！

今回は、その様子をお知らせしていきます。

令和2(2020)年12月18日(金)晴れ

プロジェクト4年目、「森林整備体験学習」が、益子の森のアカマツ林において実施され、益子町立田野小学校6年生が間伐に挑戦しました。



ケガ無く、安全第一に！

指導にあたる益子里山の会の方々
が、入念に打ち合わせしているところ、
子供たちが到着です。

準備完了！

田野小学校6年生
児童約40名、引率の先生3名
それぞれがヘルメットとゴーグル
を装着！
今年は、マスクのせいでゴーグル
がくもってしまいます。



町木アカマツ について

今年は、アカマツが元気に大きく育つよう、
育ちが悪い木や曲がった木を切る「間伐」
の作業を実施します！

エー！ ここを登っていくの？

あえて、園内の遊歩道ではなく、
林の中を登っていきます。
これも体験のひとつ。



田野小学校の精鋭部隊が
山歩きの大変さを実感し、
現場到着！



早速、間伐作業に取り掛かります。
みんな！十分に気を付けてね！

こんなノコギリ初めて使う！



細いから頑張れるぞ！



倒す方向を考え、安全な場所に！



交代しながらみんなで協力！



倒れるぞ！大迫力！



倒した木もきれいに処理！



みんな！キレイなアカマツ林になったかな？



何才になるのかなあ？あれエ！あんまり変わらないぞ！
真新しい切り株に、子供たちの成果が表れています！



広々とした里山の中で、初めての体験！
残ったアカマツは、みんなと一緒に大きく成長し、
将来、美しい風景をつくってくれるでしょう。
今度は、芝生から見えるくらい大きくなっているかな。

年明けには、アカマツ苗木植栽プロジェクトが待っています。
次の主役は、田野小学校の5年生。実行委員会の皆様、よろしくお願いします。